



大津市立志賀小学校 (滋賀県大津市)

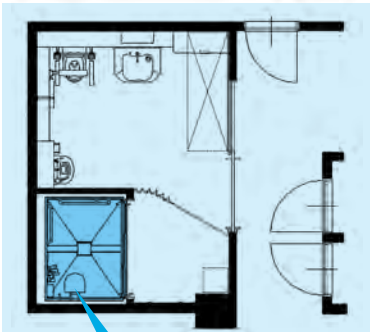
**理学療法士の参加で
多機能トイレが充実**

大規模改修をする際、学校の状況に応じてさまざまな方法で工事が進められます。大津市立志賀小学校では、まずトイレから、なかでも特別支援トイレから着手しました。

DATA

- 竣工 / 2013年3月
- 所在地 / 滋賀県大津市南志賀1丁目
- 児童数 / 835名 (2013年5月現在)
- 施主 / 滋賀県大津市
- 設計 / 株式会社建築事務所エヌピィオー、大津市建設部建築課
- 工事名 / 志賀小学校特別支援トイレ設置工事

特別支援トイレ平面図



給湯室と通路だった場所をつなげてスペースを確保し、多機能トイレを設置した。



汚してしまったときなどに使えるシャワーブース。いざというとき、すべての子どもに対応できる。



子どもでも手が届くよう手すりの位置は便器に近づけて。緊急ボタンは押しやすい場所に。

保健室近くに設置した 高機能な特別支援トイレ

校舎の大規模改修工事に先駆けて、トイレの改修から進めることが決まった大津市立志賀小学校。もともと児童数に対して数が少なかったトイレの改修を優先し、段階的に校舎の改修をすることになりました。身体に障がいのある児童を積極的に受け入れてきた同校では、特別支援トイレから着手することに。子どもたちができるだけ快適に使えるよう、機能回復訓練に携わる理学療法士にアドバイスをもらいながら設計しました。

場所は緊急時に備えて保健室から近く、プライバシーを守るために大きな廊下から少し入ったスペースに。

「すでに建っている建物に新しくトイレを作るときに苦労するのは場所。ほかの施設との関係性が機能的になるように配慮したり、既設配管との調整が知恵の絞りどころです」と大津市建設部建築課の担当者。

校舎の改修はまだ始まったばかり。さまざまな工夫を経てできあがる校舎が楽しみです。